

# 遠隔操作による在宅救急支援システムの開発

## Development of Teleoperational Home Medical Support System

---

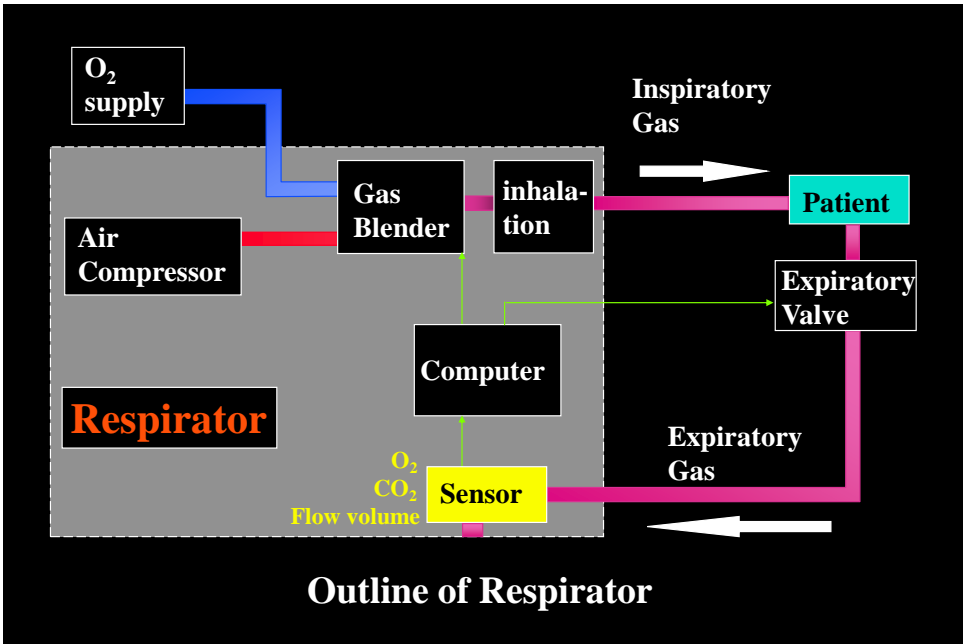
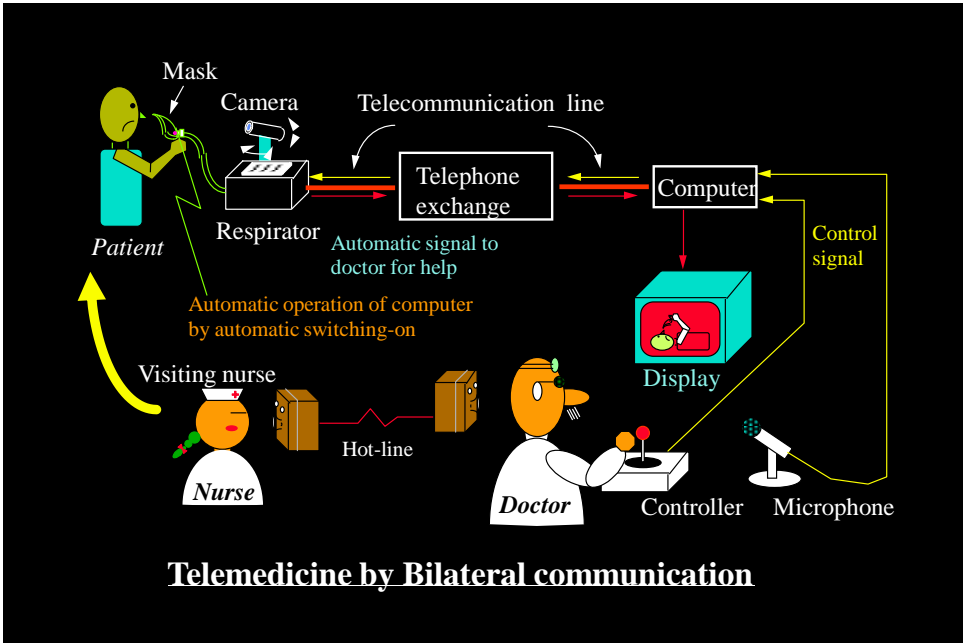
○本間 達 若松秀俊  
(東京医科歯科大学)

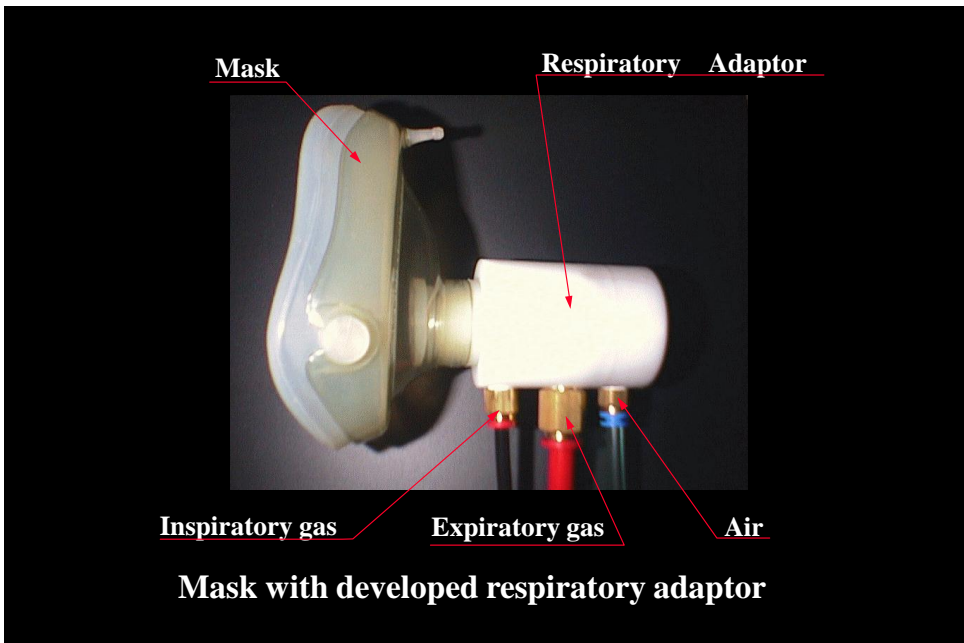
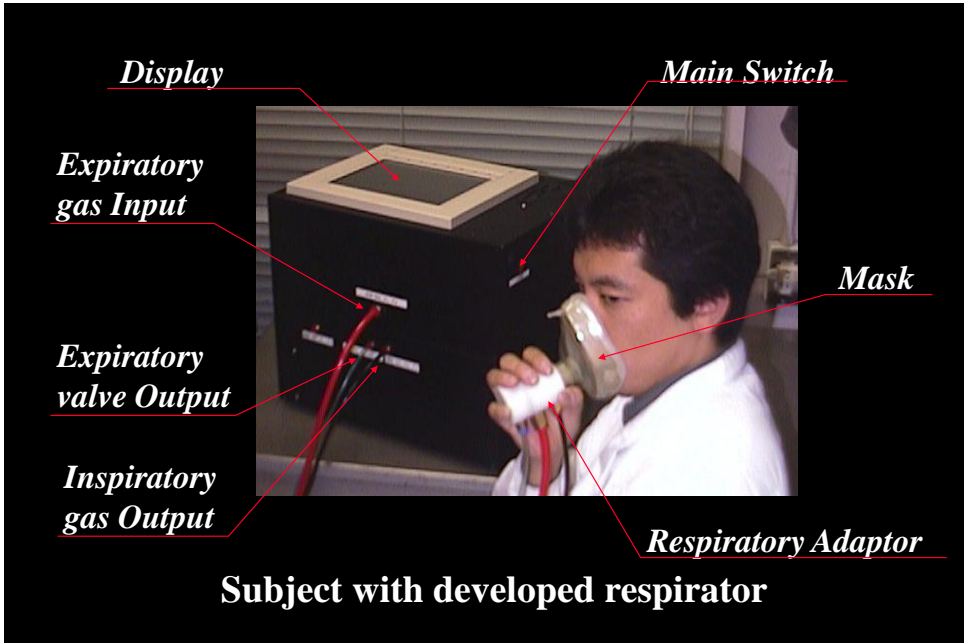
S.Honma and H.Wakamatsu  
(Tokyo Medical and Dental University)

## 目 的

---

- ・ 緊急補助呼吸システムの構成と性能の検討
- ・ 双方向通信操作による在宅救急支援システムの構築





Computer  
with display

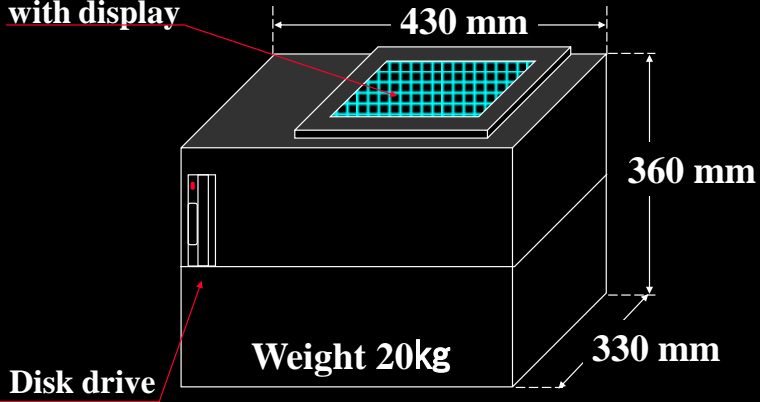
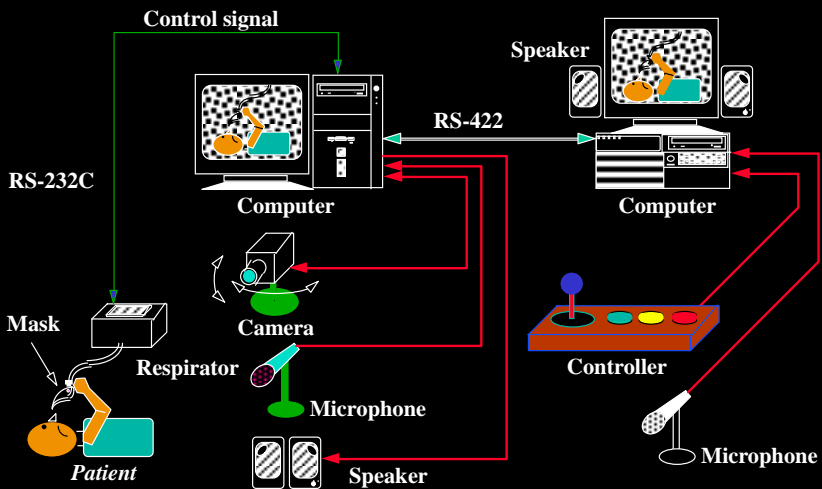


Illustration of respirator

	在宅用	臨床・麻酔用	開発した機体
給気機構	ピストン シリンダ	コンプレッサ	コンプレッサ
大きさ	310 × 230 × 315	510 × 620 × 1070	430 × 330 × 360
重量	10kg (一例)	100kg (一例)	20kg
換気方式	2 ~ 3 種類	6 ~ 10 種類	多数
補助換気	×	○	○

## 通信回線に要求される条件

- ・ 双方向に制御信号が送信出来ること
- ・ 動画・音声の伝送が可能であること
- ・ 任意の場所で使用可能であること



Experimental system for Telemedicine by Bilateral communication

## まとめ

---

- ◆補助呼吸装置を応用した遠隔操作による在宅救急医療システムを提案した
- ◆遠隔医療システムに必要な設備の性能を検討した